

「社会を明るくするために」

前裁小学校 6年 坪井 凜音

みなさんは「非行」という言葉を知っていますか。非行とは少年法の用語で、社会的な規範に反する行為を総称する概念です。簡単にいうとよくないことをしてしまうということです。私達が生きている世の中はそんな非行であふれています。もし些細なことであっても、罪に問われる可能性があります。

そんなことを犯さないために私達も何かできることがあるかもしれません。例えば、その人の心のケアをしてあげたり見守ってあげたり、難しければ呼びかけでもかまいません。「一人一人の小さな行動で人が救われるかもしれない」ということを十分に理解して助けることが重要であり、社会を明るくすると思います。

まずは、非行に走ってしまう人々について考えてみましょう。皆さんの中には、そんな悪いことをする人なんていない、そう考えている人もいないのではないでしょうか。そして、なんでやってしまうのかと疑問に思う人もいます。ですので最初は非行の例について話していきたいと思います。

非行は具体的にいうと、「非常識な行い」を意味しています。その行いというのが、罪に問われる「万引き」や「薬物乱用」「放火」です。特に万引きはここ数年増えてきています。もしかすると私達も巻き込まれる可能性は十分あるので、気をつけたほうが身のためですね。

次に非行に走ってしまう人々についてみていきましょう。そこで私はあるサイトについてお話しします。非行に走ってしまう人々の原因には大きく分けて3つあるそうです。

まず、1つ目は、自分自身の問題です。例えば、自分自身の特徴、コンプレックスなどです。自分を否定してしまい、心が不安定になり何が正しくて何が間違いかの見分けがつかなくなってしまう。そのため、自分の本能をなくし、思うがままに行動し非行に走ってしまうそうです。

2つ目は学校の問題です。非行少年たちの多くは学校の問題で悩まされているのです。その中でもダントツで多いのが「いじめ」です。一人ぼっちにされたり、悪口をかげで言われたりしている中で気持ちよく学校に行けるわけがありません。そして、多くの人たちが苦しみ、闇の手を出してしまうとネットには書かれていました。いじめの他にも担任の怖さや差別などがありました。毎回大したことがないのに怒られたり、一人の子だけに優しくするひいき、これらのような原因で不登校になったりして、情緒不安定になるそうです。

3つ目は、家庭の問題です。「家での暴力が激しくて何をすればいいのかわからなかった。」これは、ある非行少年の言葉だそうです。この少年は家庭内暴力が激しく混乱状態で非行に走ってしまったようです。このことから非行の問題は親も関わっている問題でもあるのかなと思いました。

以上のことから、非行に走ってしまう人たちにも様々な問題があり、たくさんの悩みを抱えていたり苦しみを経験したりしていたことが分かりました。では、今この状態をそのままにしておいていいのか、苦しんでいる人たちになにかできないのか。きつとなにかできると私は思います。自分自身の問題であれば、はげましや応援を積極的に行ったり、その人にあつた対応をすることが重要だと私は考えます。そして、学校の問題だったら直接先生に相談したり、友達に頼れる環境を作ったりすることも大切だと思います。また、家庭の問題であれば、その時にあつたことを聞いたり、安心できて信頼のおける友達を探してあげることが私達にできることだと思います。

私達人間は、いろいろな経験と共に生きています。中には、非行に走ってしまう人たちだけだっていると思います。ですが、その人達を救うのが私達の役目であり、できることだと思います。そして、人々を救うことで社会を明るくすることだってできると思いませんか。私達の小さな積み重ねで世界を救えます。このことを理解し、忘れることなく生活するのが、生きていくうえで欠かせないことだと私は考えます。